

この原因をどのように分析しているのか。

答 我が国全体の人口が減少する中で、主に計画期間の前半では、社会減の数が、近年では少子高齢化に伴い自然減の数が大きくなるなど、本市においても人口減少が続いており、目標人口を維持できなかったものと考えている。

問 新型コロナウイルスあるいは新興感染症対策、地震、水害等の大規模自然災害、ジェンダーフリーなど、新たな社会問題に対して記述がない理由は。

答 基本構想はあくまで方向性を示したものであり、行政に重大な影響を及ぼす新たな社会問題等については、各基本目標の中に位置付けている。また、専門的な分野に関しては各種の個別計画、行動計画等によって対応していく。

算 令和元年度 一般会計決算を認定

9月定例会で継続審議とした令和元年度行田市一般会計歳入歳出決算認定は、決算審査特別委員会による審査を経て、12月定例会初日に賛成多数をもって認定しました。

議員提出議案

例 期末手当の引き下げ等

○行田市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(原案可決)

人事院勧告等を踏まえた本市一般職及び特別職の給与改定等に準じて、市議会議員の期末手当についても改定を行うため、条例の一部を改正するものです。

○行田市新型コロナウイルス感染症関係者に対する思いやり条例 (否決)

新型コロナウイルス感染症の感染者や医療従事者等に対する差別が発生するなど悲しい事例が報告されている。今後、このようなことがないよう市民一人一人が思いやりの気持ちを持って、感染者や医療従事者等に接するとともに市民が安心して暮らすことのできるまちづくりに資することを目的として、新たな条例を定めるものです。

(主な質疑)

問 市民の責務として、「患者等に対しては思いやりの心を、医療従事者等に対しては感謝の心を持つよう努めるものとする。」と規定しているが、憲法第19条「思想及び良心の自由」に抵触しないのか。

答 努めるものとしており、強制するものではない。また、東京都をはじめ、他市でも同様の趣旨の条例を制定しており、問題ないものと理解している。

意見書 少人数学級について

○子どもの安心安全な教育環境を保障するための少人数学級の実現を求める意見書 (否決)

新型コロナウイルス感染症から子どもと教職員の健康と命をいかに守っていくかは重要な課題である。全国知事会、市長会、町村会の地方3団体は、本年7月に文部科学省へ少人数学級を求める緊急提言を行った。政府の「骨太方針2020」も、少人数指導について「関係者間で丁寧検討すること」を求め、中央教育審議会には全国都市教育長

協議会をはじめ、PTA全国協議会など多くの関係団体が要望を寄せている。本市議会としても政府に対し、小・中学校の少人数学級の実現を求めるため、意見書を提出するものです。

第6次行田市総合振興計画基本構想審査特別委員会

(提出先 内閣総理大臣ほか)
委員15人で構成する総合振興計画基本構想審査特別委員会を設置し、今定例会で継続審議とした「第6次行田市総合振興計画基本構想について」を付託しました。

本構想は、将来都市像を「いにしえと未来を紡ぐ、誇れるまち ぎょうだ」と定め、令和3年度から12年度までの本市のまちづくりビジョンとして、総合的かつ計画的な行政運営を図るための構想として提出されたものです。

同委員会は閉会中に審査を行い、その結果を3月定例会で報告することとなります。なお、委員の構成は次のとおりです。

- | | |
|----|-------|
| 委員 | 吉野 修 |
| 委員 | 町田 光 |
| 委員 | 江川 直一 |
| 委員 | 田中 和美 |
| 委員 | 小林 修 |
| 委員 | 福島 智雄 |
| 委員 | 細谷美恵子 |
| 委員 | 高橋 弘行 |
| 委員 | 村田 秀夫 |
| 委員 | 齊藤 博美 |
| 委員 | 野本 翔平 |
| 委員 | 小林 友明 |
| 委員 | 吉田 豊彦 |

要望書 忍川の整備要望書を関係機関に提出

昨年度から要望を行ってきた忍川整備の早期実現のため、令和2年11月20日に、忍川の河道拡幅及び調節池の整備着手について、埼玉県への要望に加え、改めて国土交通省へ要望書を提出しました。



強化された忍川堤防（緑町地内）